

高校生の 広場

Plaza of high school students

皆さんの夢を応援します!

今年もコロナの感染状況をみながら、
6月から医療者を目指す高校生の体験企画を行っています。
8月に入り第5派のため体験を延期または
オンライン企画に変更をお願いしました。

体験企画

チーム医療を体感しよう!

今年は参加者合同で事例検討(ケースカンファレンス)を行っています。「救急車で運ばれてきた高齢の患者さん」「入院を始めるが帰りたいといわれています・・・」
さて、どんな言葉かけをしますか?



医師体験では気管挿管体験と研修医への質問コーナーを開催しています

気管挿管(きかんそうかん)は、口または鼻から喉頭を経由して「気管内チューブ」を挿入する気道確保方法です。呼吸をしてない方に対する処置の1つで医師と一緒に体験します。最初は苦戦しましたが、無事挿管出来た時には拍手をします!

※感染対策を行っています



宮崎生協病院は医師体験のほかに看護師・薬剤師・理学療法士・

臨床検査技師・放射線技師の体験企画も行っています

看護
体験



検査技師
体験



薬剤師
体験



放射線
技師体験



看護体験では血圧測定体験・手指消毒体験のほかに患者さんの状態を観察する場面を見学します。

理学療法士体験は理学療法士とともにリハビリを見学し、検査・放射線・薬剤師体験はそれぞれの職場で機器や画像の説明などを行います。

しゃべり場 (オンライン企画)



体験企画に参加できなかったけど、話を聞いてみたい!という方へオンラインしゃべり場。「やりがいは?」「実習大変??」などなど現場のスタッフが学生さんの質問に答えていきました。



地域医療講演会

今回のメイン講師は坂口亮介Dr.、ご自分の経験をもとに医師を目指したきっかけ・地元宮崎に貢献したい思い・循環器内科への道・医師になってから出会った人々・コロナ禍に思うことについてお話頂き高校生に向けて学ぶことの重要性や人を知る大切さなどを講演。後半は坂口Drと1年目Dr 5名も交えての高校生との質問コーナーで高校生から「勉強方法」や「1日の過ごし方」「自分は地域で生活する方すべての対応をしたいと思っている、地域の外国の方が受診されたときはどのように対応するのか?」など様々な質問が寄せられました。参加者から「患者さんから症状を引き出す力、人の考えていることを理解する力、医師に大切なのは学んだ知識や技量だけでなく人と人とのつながりであることを改めて考えさせられました。」との感想がありました。

